

当期の事業活動 について

第117期 第2四半期(中間期)決算を終えて

平成30年3月1日から平成30年8月31日まで

 Hisamitsu®

特集

グローバルCSRを 考える

～久光インドネシア～

トピックス

「貼付剤による治療文化」を広げるため
世界からの期待と評価に
これからも常に応えていく

OTC医薬品(一般用医薬品)鎮痛消炎貼付剤
販売シェア世界No.1ブランドに2年連続認定

経皮吸収型持続性疼痛治療剤
「フェントス®テープ」の「0.5mg」新用量追加

「貼付剤による治療文化」を広げるため 世界からの期待と評価にこれからも常に応えていく

OTC医薬品（一般用医薬品）鎮痛消炎貼付剤販売シェア世界No.1ブランドに2年連続認定



英国のグローバル市場調査会社・ユーロモニター社より2年連続で「Salonpas®」が、OTC医薬品市場の鎮痛消炎貼付剤カテゴリーで販売シェア世界No.1ブランドに認定され、また同時に同カテゴリーで当社が販売シェア世界No.1企業の認定を受けました。認定を受けた5月18日は「こ（5）りをいや（18）す」という語呂から、一般社団法人日本記念日協会に「サロンパス®の日」と認定された日です。当社は今後も貼付剤を通じて世界の人々のQOL向上に貢献してまいります。

グローバル
「貼付剤」市場での
目標シェア50%へ
さらに前進

経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」の「0.5mg」新用量追加

本年7月、経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」の0.5mg新用量追加に関する承認を取得しました。今般の0.5mg新用量追加の承認申請にあたり、当社は本剤0.5mgの癌疼痛患者を対象とした臨床試験によって、有効性および安全性を確認しました。本剤0.5mgにより、癌疼痛患者および慢性疼痛患者における低用量の他のオピオイド鎮痛剤からの切替え時の用量選択や、用量増減時のより細かな用量調整が可能になります。

癌疼痛および
慢性疼痛に苦しむ
患者様の
QOL向上に
より一層貢献

CONTENTS

- P1 トピックス
- P2 第117期第2四半期決算のご報告
- P3 特集
- P5 スポーツ・文化振興／社会貢献
- P6 連結第2四半期決算ハイライト
- P7 連結財務諸表（要約）
- P9 会社の概況／株式情報
- P10 インフォメーション

■ 報告書の記述についての注意事項

この当期の事業活動についての業績予想に関する記述及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて、現時点で合理的であると判断したものです。従って、実際の業績は、さまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。実際の業績に影響を与える要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場の動向、為替相場の変動、法律及び規制、製品の開発状況などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。また報告書に医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、これらは宣伝・広告するものではありません。

第117期第2四半期決算のご報告

株主の皆様には、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第117期第2四半期（平成30年3月1日～平成30年8月31日）の営業概況と決算についてご報告いたします。

国内市場を振り返ると、医療用医薬品事業は今年4月の薬価改定に加え、後発品使用促進策による影響を引き続き受けたため、減収となりました。一般用医薬品事業は、主力商品の「サロンパス®」に加え、「フェイタス®」シリーズや「アレグラ®FX」等の売上が好調に推移し、厳しい競争環境が続く中で増収を果たしました。

海外市場では、営業体制を見直したことや後発品及び円高の影響等により医療用医薬品事業が減収となる一方、一般用医薬品事業は、円高の影響を受けたものの、米国子会社を中心に売上を伸ばし、増収となりました。

以上の結果、当第2四半期の連結業績は売上高693億8千4百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益112億2千9百万円（同11.1%減）、経常利益120億1千2百万円（同6.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益91億5千8百万円（同2.4%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへの一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
最高執行責任者（COO）
中富 一榮

代表取締役会長
最高経営責任者（CEO）
中富 博隆

私たち久光製薬は経営理念と企業使命の実現を目指して事業を推進する中で、様々なCSR活動に取り組んでいます。今回の特集では、これからのCSR活動における重要なテーマである「グローバルCSR」について、久光インドネシアでの活動を通じてご説明させていただきます。



生産・営業活動

久光インドネシアは、インドネシア第二の都市であるスラバヤ近郊のシダルジョに工場と本社機能を構え、首都ジャカルタに営業本部を、その他主要都市10ヶ所に支店を展開しています。シダルジョ工場は昭和50（1975）年の創業以来拡張を続け、現在は平成16（2004）年にリニューアルした第1工場、平成27（2015）年に新設した第2工場の2工場体制となっています。医薬品を生産するための認可、廃棄物処理などの環境関連法規制、最低賃金などの雇用に関する規制をはじめ、インドネシア

の関連法を遵守した上で生産活動を行っています。設立当初は周辺に工場などはなく、地域の雇用先としても貢献してきました。

インドネシア国内では、「サロンパス®」や「バイバイフィーバー®」（冷却シート）などの商品を医薬品卸業者を通じ、大規模なショッピングモールや街中の小規模店舗など様々なルートで販売しています。営業社員は、各店舗の状況を把握しながら数多くのキャンペーンを実施し、「サロンパス®」ブランドの認知度を高める活動を行っています。



サロンパス®の製造工程

雇用確保と生産性のバランスをとった生産ラインを設置。主要設備以外は現地製を前提としています。



社員食堂での昼食

社員食堂では宗教上の配慮からハラール（イスラム法で許されている食べ物）に基づいた食事を提供しています。



ショッピングモールでの商品説明

小売パートナーと協力しながらポスターやPOP等で「サロンパス®」ブランドの浸透を図っています。



店舗でのコミュニケーション

1店1店の小規模店舗でも訪問し、丁寧に店舗関係者やお客様の声を集めています。

ステークホルダー・エンゲージメント

～ステークホルダーの要求を理解し、自社の活動や意思決定に反映させる仕組み～

PT. Jutarasa Abadi社とのエンゲージメント

久光インドネシアではCSR活動をさらに向上させていくために、原材料のサプライヤーであるPT. Jutarasa Abadi社、またインドネシアの政府機関であるBPOMの関係者と、エンゲージメントを実施しています。

PT. Jutarasa Abadi社は循環型経済やフェアトレード、ならびに生産者の人権などを踏まえた多くのプロジェクトを実施しており、当エンゲージメントではその内容をご紹介いただきました。また様々な情報交換を行うなど、久光インドネシアのCSR活動の向上を図る上で、とても貴重な機会となりました。

久光インドネシア 廣木生産本部長より

こうしたエンゲージメントの機会を持つのは、久光インドネシアとして初の試みでした。業務的な内容ではなく、CSRを切り口とした情報交換により、あらためて調達先のポテンシャルやインドネシアの社会的状況について知ることができ、大変勉強になりました。



BPOMとのエンゲージメント



久光インドネシアにおける医薬品製造の事業認可などに関わるBPOM（インドネシア国家食品医薬品監督庁）とのダイアログでは、インドネシア国民の未病・予防に対する意識の高まりや医療・健康関連など、CSRに関わる一般的な概況を伺うことができました。また久光インドネシアからは、コンプライアンス上の取り組みやCSR活動の概要をご説明し、ご理解をいただきました。

久光インドネシア 加藤代表より

普段は自社の事業を中心に考える傾向にありますが、今回のBPOMとのエンゲージメントを通じて、より広く医療・健康という面から社会的課題を見直すことができました。ダイアログを通じて知った政策関係者の認識などを、今後の取り組みに活かしていきたいと思っています。

東京2020公認プログラムへの参画

オリンピックとパラリンピックのムーブメントを推進する活動を続けていきます

当社は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のオフィシャルパートナーとして、様々な「東京2020公認プログラム」を開催いたしました。

東京2020公認プログラムとは、東京2020大会の大会ビジョンのもと、スポーツや文化芸術、地域での世代を越えた活動、被災地への支援など、参加者自らが体験・行動し、未来につながるプログラムです。

当社の活動としては、佐賀県鳥栖市近隣の子どもたちに、「私が参加する東京2020オリンピック・パラリンピック」をテーマに作品を描いていただき、当社関連施設工事仮囲いに掲載する「久光製薬仮囲いアートプロジェクト」や、日本の伝統文化である「茶道」の振興を目的に、地域の皆様が気軽に参加できる「第24

回秋の茶会」を開催することで、伝統文化の継承を図り、日本文化への関心を高める機会創出の場としました。また、東京2020パートナー企業16社ならびに公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が参加した「PARTNER SPORT DAY 2018」は、参加者自らがスポーツの価値を感じつつ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のムーブメントを推進することを目的としており、当社も参加しております。

今後も、オリンピックとパラリンピックのムーブメントを推進する活動を続けていきます。



「PARTNER SPORT DAY 2018」全体写真



平成30年7月豪雨災害に対する支援活動

マッチングギフト制度「久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部」とともに総額500万円の義援金を寄付

当社は、平成30年7月豪雨による被害支援として義援金300万円、「久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部」より義援金200万円の、計500万円を日本赤十字社を通じて寄付しました。

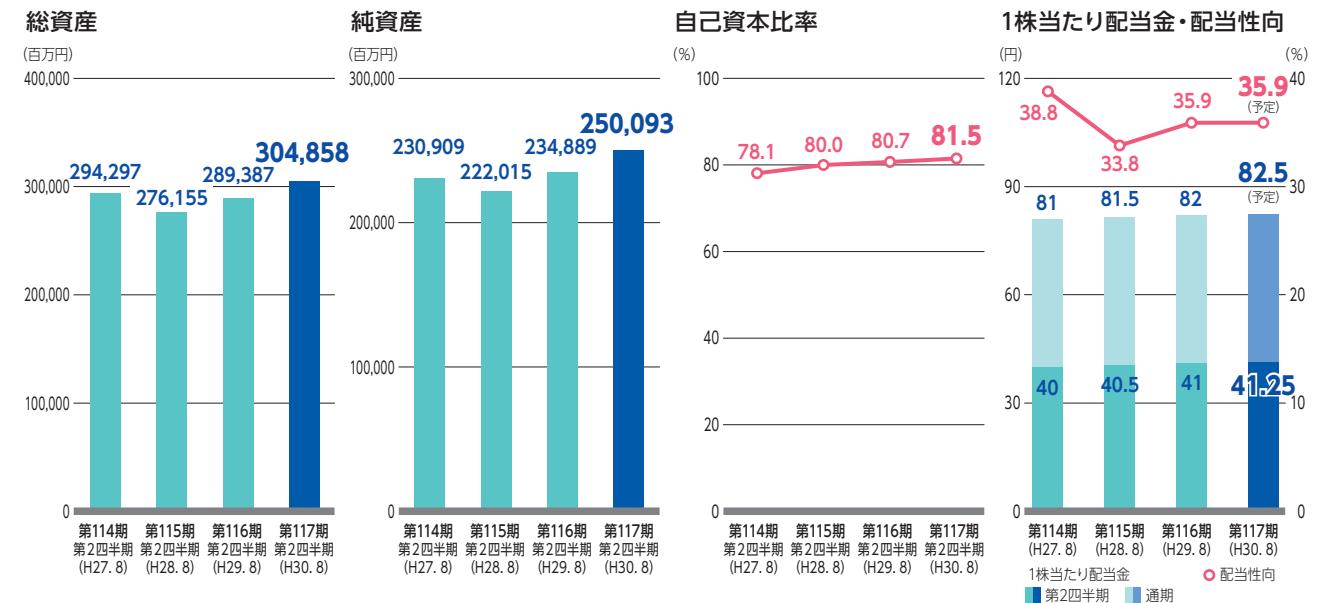
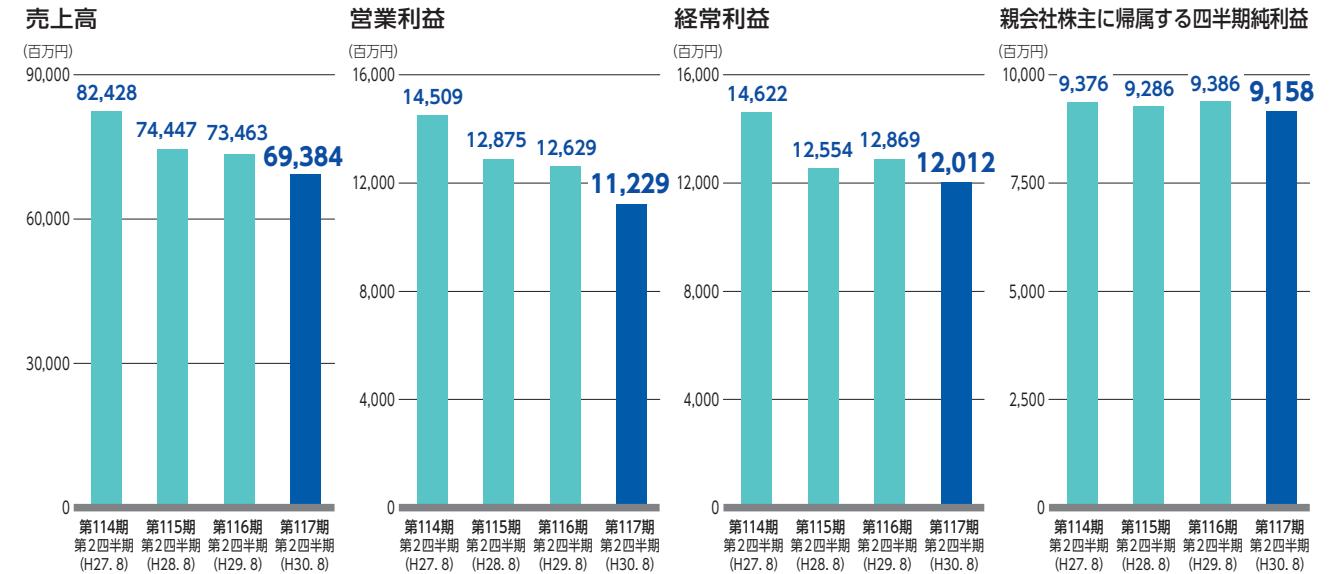
創業160周年記念事業の一環として平成19年に設立した「久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部」では、当倶楽部の趣旨に賛同した役員及び従業員が会員となり、会

員が毎月拠出した金額に対して会社が同額を上乗せし、集まった運営基金を社会貢献活動に役立てています。

被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げるとともに、社会とともに歩み持続的な成長・発展を目指す企業として、引き続き当倶楽部による活動をはじめ、多くの社会貢献を行ってまいります。

連結第2四半期決算ハイライト

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHT



連結財務諸表 (要約)

Point 1 資産

当第2四半期末の総資産は、前期末と比較して49億4千5百万円増加し、3,048億5千8百万円となりました。主な増減は、有価証券(10億6千9百万円増)及びその他流動資産(39億1百万円増)です。

Point 2 負債

当第2四半期末の負債合計は、前期末と比較して7千9百万円増加し、547億6千5百万円となりました。主な増減は、未払法人税等(23億2千2百万円減)及びその他流動負債(21億5百万円増)です。

Point 3 純資産

当第2四半期末の純資産合計は、前期末と比較して48億6千5百万円増加し、2,500億9千3百万円となりました。主な増減は、利益剰余金(57億1千4百万円増)及び為替換算調整勘定(16億2千万円減)です。

Point 4 売上高・営業利益

当第2四半期までの売上高は前年同期比5.6%減の693億8千4百万円となりました。国内市場において、医療用医薬品事業は、今年4月の薬価改定に加え、後発品使用促進策による影響を引き続き受けたため、減収となりました。一般用医薬品事業は、依然として厳しい販売競争が続いていますが、主力商品の「サロンパス®」に加え、「フェイタス®」シリーズや「アレグラ®FX」等の売上が好調に推移し、増収となりました。海外市場において、医療用医薬品事業は、営業体制を見直したことで後発品及び円高の影響等により減収となり、一般用医薬品事業は、円高の影響を受けたものの、米国子会社を中心に売上を伸ばし、増収となりました。営業利益は売上の減少により前年同期比11.1%減の112億2千9百万円となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 (H30.8.31 現在)	前期末 (H30.2.28 現在)
資産の部		
流動資産	195,434	190,065
固定資産	109,424	109,847
有形固定資産	39,666	40,064
無形固定資産	3,213	4,100
投資その他の資産	66,544	65,683
資産合計	304,858	299,913
負債の部		
流動負債	34,773	34,938
固定負債	19,991	19,747
負債合計	54,765	54,686
純資産の部		
株主資本	221,732	216,021
その他の包括利益累計額	26,742	27,679
新株予約権	346	299
非支配株主持分	1,271	1,227
純資産合計	250,093	245,227
負債純資産合計	304,858	299,913

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (H30.3.1 から H30.8.31 まで)	前第2四半期 (H29.3.1 から H29.8.31 まで)
4 売上高	69,384	73,463
売上原価	26,130	27,584
売上総利益	43,253	45,878
販売費及び一般管理費	32,024	33,249
4 営業利益	11,229	12,629
営業外収益	923	849
営業外費用	139	609
経常利益	12,012	12,869
特別利益	218	487
特別損失	10	2
税金等調整前四半期純利益	12,221	13,354
法人税等	2,917	3,809
四半期純利益	9,303	9,545
非支配株主に帰属する四半期純利益	145	158
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,158	9,386

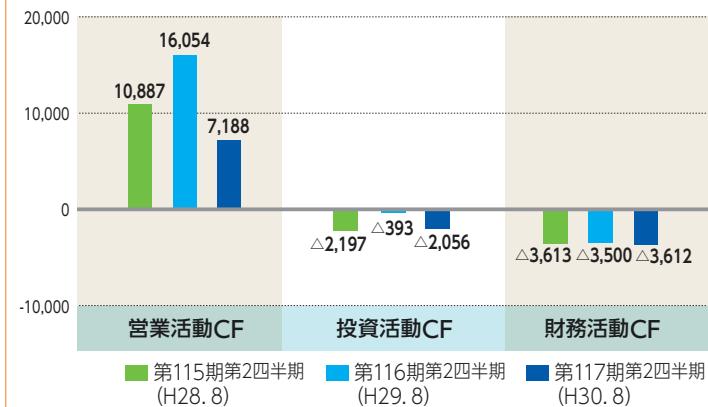
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (H30.3.1 から H30.8.31 まで)	前第2四半期 (H29.3.1 から H29.8.31 まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,188	16,054
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,056	△ 393
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,612	△ 3,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 909	△ 1,316
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	609	10,844
現金及び現金同等物の期首残高	126,569	105,610
現金及び現金同等物の四半期末残高	127,178	116,454

キャッシュ・フローの推移

(単位:百万円)



CONSOLIDATED FINANCIAL DATA

Point 5 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは71億8千8百万円の収入(前年同期は160億5千4百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益(122億2千1百万円)、法人税等の支払額(50億5千9百万円)などによるものです。

Point 6 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは20億5千6百万円の支出(前年同期は3億9千3百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出(17億6千9百万円)などによるものです。

Point 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは36億1千2百万円の支出(前年同期は35億円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額(34億3千1百万円)などによるものです。

会社の概要

創業	弘化4年(1847年)
設立	昭和19年5月22日
資本金	8,473,839,816円
従業員	2,892名
事業所	

当 社	九州本社(本店)	佐賀県鳥栖市田代大官町408番地
	東京本社	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号
	支店	札幌支店、仙台支店、東京第一支店、東京第二支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、福岡支店、台北支店、シンガポール支店、マニラ支店
	営業所	さいたま営業所、千葉営業所、横浜営業所、金沢営業所、京都営業所、高松営業所
	工場	宇都宮工場、鳥栖工場
研究所	筑波研究所、鳥栖研究所	

子 社 会 社	国内	株式会社CRCCメディア(福岡県)、佐賀シティビジョン株式会社(佐賀県)、株式会社タイヨー(佐賀県)、九動株式会社(佐賀県)、久光エージェンシー株式会社(福岡県)
	海外	ヒサミツ ユーエス インコーポレイテッド(米国)、ヒサミツ アメリカ インコーポレイテッド(米国)、ノーベン ファーマシューティカルズ(米国)、ヒサミツ ファルマセウティカド ブラジル リミターダ(ブラジル)、ヒサミツ ユーケー リミテッド(英国)、ヒサミツ バトナム ファーマシューティカル カンパニー リミテッド(バトナム)、久光製薬技術諮詢(北京)有限公司(中国)、久光製薬(中国)有限公司(中国)、久光製薬(香港)有限公司(香港)、P.T.ヒサミツ ファルマ インドネシア(インドネシア)他3社

取締役及び監査役 (平成30年8月31日現在)

代表取締役会長 (CEO)	中 富 博 隆	取 締 役	肥 後 成 人	常 勤 監 査 役	中 富 舒 行
代表取締役社長 (COO)	中 富 一 榮	取 締 役	後 田 敏 明	常 勤 監 査 役	平 野 宗 彦
専 務 取 締 役	杉 山 耕 介	取 締 役	高 尾 信 一 郎	監 査 役	小 野 桂 之 介
常 務 取 締 役	秋 山 哲 雄	取 締 役	齋 藤 久	監 査 役	徳 永 哲 男
		取 締 役	堤 信 夫		
		取 締 役	村 山 進 一		
		取 締 役	市 川 伊 三 夫		
		取 締 役	古 川 貞 二 郎		

(注) 取締役 市川伊三夫、古川貞二郎は、社外取締役です。
(注) 監査役 小野桂之介、徳永哲男は、社外監査役です。

株式の状況

発行可能株式総数	380,000,000株
発行済株式の総数	95,164,895株
株主数	4,537名

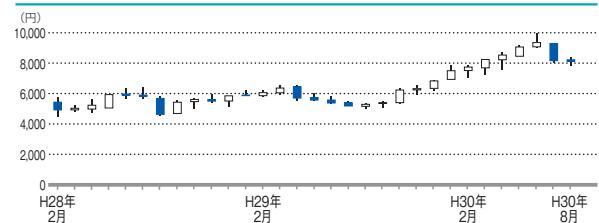
大株主

株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,081
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,596
野村信託銀行株式会社(退職給付信託三菱UFJ銀行口)	4,387
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(りそな銀行再信託分・株式会社西日本シティ銀行退職給付信託口)	4,370
日本生命保険相互会社	3,910
株式会社福岡銀行	3,621
株式会社佐賀銀行	2,356

所有者別分布状況



株価の推移



事業年度	3月1日～翌年2月末日
定時株主総会	毎年5月に開催
配当金受領	2月末日
株主確定日	中間配当金を支払うときは、8月31日
基準日	定時株主総会の基準日は2月末日とします。そのほか必要があるときは、あらかじめ公告します。

公告方法
電子公告により公告
<https://www.hisamitsu.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町一丁目1番
TEL. 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所
東京・名古屋証券取引所
各市場第1部及び福岡証券取引所
証券コード
4530

(ご注意)
1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお問合せ先
久光製薬株式会社
九州本社総務部 株式課
〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町408番地
TEL. 0942-83-2101 FAX. 0942-83-6119

商品に関するお問合せ先
久光製薬株式会社 東京本社
お客様相談室
フリーダイヤル 0120-133250
受付時間 9:00～17:50
(土日・祝日・会社休日を除く)

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	特別口座の口座管理機関	お問合せ先
●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取(買増)請求 ●住所・氏名等のご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定(*)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町一丁目1番 TEL. 0120-232-711(通話料無料) [郵送先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	株主名簿管理人 [手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はご選択いただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町一丁目1番 TEL. 0120-232-711(通話料無料) [郵送先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

最新の会社情報を当社ウェブサイトに掲載しております。今後も、株主・投資家の皆様にお役立ていただけるようさらなる工夫を加え、掲載情報のより一層の充実を図ってまいります。



<http://www.hisamitsu.co.jp/>



貼って、寝て、
さもちいい!



肩こり・腰痛・筋肉痛に 第3類医薬品



◎この商品に関するお問い合わせは、久光製薬お客様相談室へ。☎0120-133250 受付時間／9:00-17:50(土日・祝日・会社休日を除く) www.hisamitsu.co.jp

サロンパス

検索

貼るを、未来へ。

久光製薬はオフィシャルパートナーとして東京2020オリンピック・パラリンピックを応援しています。



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

Hisamitsu®



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京2020オフィシャルパートナー(外用鎮痛消炎剤)